

新公立病院改革プラン継続計画

団体コード	108162
施設コード	001

団体名	多野藤岡医療事務市町村組合								
プランの名称	新公立藤岡総合病院改革プラン 継続計画								
策定日	令和	3	年	11	月	1	日		
改定日	令和	4	年	2	月	1	日		
対象期間	令和	3	年度	～	令和	5	年度		
病院の現状	病院名	公立藤岡総合病院			現在の経営形態		公営企業法財務適用		
	所在地	群馬県藤岡市中栗須813番地1							
	公立藤岡総合病院 病床数	病床種別	一般	療養	精神	結核	感染症	計	
		一般・療養病床 の病床機能	390				4	394	
	公立藤岡総合病院 健康管理センター 病床数	病床種別 人間ドック	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計※	※一般・療養病床の合計数と 一致すること	
一般		療養	精神	結核	感染症	計			
診療科目	科目名	内科、精神科、神経内科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、血液内科、腎臓内科、アレルギー科、リウマチ科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、歯科口腔外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線診断科、放射線治療科、麻酔科、病理診断科 救急科 (計27科目)							
(1) 地域医療構想を踏まえた役割の明確化	① 地域医療構想を踏まえた当該病院の果たすべき役割 (対象期間末における具体的な将来像)	地域医療構想での藤岡地域は、全人口の減少で高齢者の占める割合は増加傾向にあるが、埼玉県北部地域からの医療需要に対応することが求められ、病床は、急性期病床の減少、回復期病床の不足が想定される。藤岡医療圏の将来想定を踏まえ、地域医療を確保し住民が安心して生活していくために、医療、介護、予防、福祉、生活支援が確保される地域包括ケアシステム体制を構築する。外来医療では救急医療体制を強化し、入院医療は急性期に特化しつつ機能分化・強化を図り回復期リハビリテーション病棟の設置、地域包括ケア病棟の充実、訪問看護ステーション、老人保健施設の活用、行政機関の藤岡市及び藤岡市国民健康保険鬼石病院等の地域医療機関との更なる連携強化を図る。							
	令和7年(2025年)における当該病院の具体的な将来像	○急性期の医療体制を確保しつつ、回復期リハビリテーション病棟、包括ケア病棟の効率的な稼働を図り、在宅復帰に向けての診療を強化する。 ○介護、在宅医療と連携するために患者支援センターを設置し、併設の訪問看護ステーション、介護老人保健施設を活用し地域包括医療の充実を図る。 ○慢性期医療を主体とする藤岡市国民健康保険鬼石病院を後方支援病院とし更なる連携を図り、長期の治療が必要な場合でも最終的に在宅復帰を可能とする体制を構築する。							
	② 地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割	地域で安心して暮らせるサポートシステムとして在宅復帰支援を行う地域包括ケア病棟を平成27年11月より設置し、急性期医療と在宅の間で機能している。また、平成29年度には回復期リハビリテーション病棟、患者支援センターを新たに設置し、すでに機能している訪問看護ステーション、老人保健施設を効率的に活用した急性期から在宅までを網羅するケアミックス型の病院として地域包括ケアシステムの中核的役割を担う。また、慢性期医療の後方支援病院である藤岡市国民健康保険鬼石病院、地域医療機関、介護、福祉、行政との連携を強化し、情報の共有を図り、地域包括ケアシステムの構築を進めていく。							
③ 一般会計負担の考え方 (繰出基準の概要)	地方公営企業の独立採算性に従って、「経済性を発揮するとともに、その本来の目的である公共の福祉を増進するよう運営されなければならない」との原則に従い、病院経営の継続と自立を考慮し、総務副大臣通知の繰出し基準に基づき繰出額を定めている。また、新たな繰出は構成市町村と協議を行う。 ○病院建設改良に要する経費の1/2(平成14年度までに着手した事業に係る元利償還金にあっては2/3) ○救急医療の確保に要する経費 ○小児医療に要する経費 ○周産期に要する経費 ○感染症医療に要する経費救急医療に要する経費(救急医療の確保に要する経費) ○児童手当法に規定する児童手当の給付に要する経費の一部について一般会計が負担すべき額								
④ 医療機能等指標に係る数値目標									
1)医療機能・医療品質に係るもの		29年度 (実績)	30年度 (実績)	1年度 (実績)	2年度 (実績)	3年度	4年度	5年度	備考
	救急患者数(人)	13,298	11,265	11,142	9,176	10,176	11,285	12,515	
	手術件数(件)	1,205	1,278	1,271	1,091	1,152	1,216	1,284	
	紹介率(%)	49.2	55.6	61.2	65.5	65	67.5	70.0	
	逆紹介率(%)	65.4	79.2	90.8	86	84.8	85.0	85.0	
2)その他		29年度 (実績)	30年度 (実績)	1年度 (実績)	2年度 (実績)	3年度	4年度	5年度	備考
	医療相談件数(件)	22,880	26,649	24,573	24,706	25,804	26,737	27,806	
	患者満足度(%)	85.0	83.0	73.0	86.0	87.0	88.0	89.0	
⑤ 住民の理解のための取組	当院は質の高い効率的な医療を提供し、災害・感染対策の基幹病院として地域医療を確保し、地域完結型の医療の提供体制を構築していかねばならない。それには、藤岡市との連携、後方支援病院としての藤岡市国民健康保険鬼石病院との連携を強化し、急性期から慢性期、在宅までの医療・介護を提供していく。機能的な組織体制の整備、病院経営の健全化を考慮し、10・20年先の病院のあり方を考え取り組んでいく。医療環境を正しく住民に理解してもらうため病院ホームページや病院広報誌を通じた情報提供を継続していく。								

(2) 経営の効率化	① 経営指標に係る数値目標									
	1) 収支改善に係るもの		29年度 (実績)	30年度 (実績)	1年度 (実績)	2年度 (実績)	3年度	4年度	5年度	備考
	経常収支比率(%)		92.7	96.8	95.6	95.7	95.3	102.5	98.4	
	医業収支比率(%)		96.4	96.8	95.4	89.0	90.1	95.7	96.7	
	2) 経費削減に係るもの		29年度 (実績)	30年度 (実績)	1年度 (実績)	2年度 (実績)	3年度	4年度	5年度	備考
	診療材料費の対医業収益比率(%)		7.4	6.9	7.2	7.5	7.4	7.0	7.0	
	薬品費の対医業収益比率(%)		16.6	16.6	17.9	19.1	19.1	18.1	18.2	
	職員給与比率(%)		52.7	52.2	51.7	56.1	54.4	51.8	51.9	
	100床当たり職員数(人)		133.8	140.7	141.7	148.5	153.1	155.6	155.6	
	3) 収入確保に係るもの		29年度 (実績)	30年度 (実績)	1年度 (実績)	2年度 (実績)	3年度	4年度	5年度	備考
	1日当たり入院患者数(人)		313.7	326.8	314.3	270.4	284.4	314.3	326.9	
	1日当たり外来患者数(人)		858.0	819.2	756.9	634.0	664.8	701.7	702.4	
	病床利用率(%)		85.8	89.9	86.7	74.8	76.4	79.9	82.9	
	4) 経営の安定性に係るもの		29年度 (実績)	30年度 (実績)	1年度 (実績)	2年度 (実績)	3年度	4年度	5年度	備考
	医師数(人)		66	71	69	66	65	65	65	
現金預金残高(千円)		4,484,919	4,339,505	3,762,134	3,347,938	3,063,351	2,831,748	2,703,348		
入院単価(円)(急性期)		60,632	63,322	64,702	68,508	69,800	68,000	68,000		
外来単価(円)		14,658	15,572	17,927	20,352	21,265	21,000	21,000		
上記数値目標設定の考え方		平成29年11月に病院統合し、移転に伴う経費の増加と患者数の減による収入の減で経常収支比率は下がる。また、患者数の減は、病床利用率にも影響する。平成30年度以降、新病院では、口腔外科や回復期リハ病棟の開設、医師、リハビリ等の職員採用増により給与比率は上昇。病床利用率は、急性期、包括ケア、回復期リハの病棟の特性を活かし上昇を見込む。								
② 経常収支比率に係る目標設定の考え方(対象期間中に経常黒字化が難しい場合の理由及び黒字化を目指す時期、その他目標設定の特例を採用した)		病院機能統合による建設改良費や企業債償還金の増により病院経営は厳しくなりますが、経費削減や効率的な運営を図ることにより、令和1年度以降の経常収支黒字化を目指す。								
③ 目標達成に向けた具体的な取組(どのような取組をどの時期に行うかについて、特に留意すべき事項も踏まえ記入)		民間的経営手法の導入	平成23年度迄に、医事業務、清掃業務、洗濯業務、宿直警備業務、医療機器保守、施設設備保守、廃棄物処理、給食業務、滅菌処理業務の委託化を実施しており、今後は、契約内容の見直しを行うとともに、継続的な業務委託の見直しや導入を検討していく。 人事評価制度による適切な人事管理を行っていく。							
		事業規模・事業形態の見直し	○公立藤岡総合病院機能再整備基本計画の策定(平成20年度) ○構成市町村との協議(平成22年度から) ○公立藤岡総合病院機能再整備計画書策定(平成24年度) ○新病院建設の基本設計策定(平成25年度) ○新病院実施設計策定(平成26年度から平成27年度) 平成28年1月 新入院棟建設工事着工 平成29年11月 新入院棟開院 ※事業形態の見直しは、開院後、構成市町村と藤岡市国民健康保険鬼石病院を含めた中で検討していく。							
		経費削減・抑制対策	○経費削減プロジェクトを起ち上げ、診療材料の購入及び全ての委託業務の契約内容、契約方法について見直しを継続(25年度から) ○職員の業務量・業務内容の状況を精査し、職員数及び人件費の見直しを継続(26年度から)事務系職員数については、退職者の不補充や非常勤職員等の活用により人件費の削減を図る。 ○ジェネリック医薬品の利用促進による薬品費の削減(25年度から)							
		収入増加・確保対策	○救急患者の積極的な受け入れにより入院患者の増を図る。 ○DPC請求額の向上を図り、DPC請求において機能係数の対象となる施設基準の検討、整理。 ○平均在院日数の短縮により診療密度を高め、診療単価の増加を図る。 ○平成27年11月より地域包括ケア病棟の開設により、病床の横断的活用を進め、病床利用率の向上を目指す。 ○限度額認定や出産一時金委任払などの制度の活用及びクレジットカード納付の導入による未収金の発生回避と職員及び一部外部委託による積極的回収を行う。							
④ 新改革プラン対象期間中の各年度の収支計画等		その他	○病床数は現状を確保し、急性期病床から患者のニーズに応じた病棟形態に変更する。29年11月開院の新病院では、急性期 342床(うち包括ケア47床)、回復期リハビリ48床、健診20床、感染4床を設置した。 ○30年度4月には急性期342床(うち包括ケア47床)、回復期リハビリ48床、健診5床、感染4床に変更し診療報酬改定による経営対応とした。 ○ケニカルパスの導入やDPCの適正化により、平均在院日数の短縮、利用率の向上に取り組んでいるが、平成27年11月の包括ケア病棟の設置により平均在院日数のさらなる短縮を目指す。 ○分離により取得出来なかった施設基準の取得を目指す。(研修施設、チーム医療:褥瘡対策、リハビリ初期、緩和ケアなど) ○無菌治療室管理加算1、回復期リハビリテーション病棟入院料1、ポジトロン断層・コンピュータ断層複合撮影、外来化学療法加算1、歯科施設基準							

(別紙1)

団体名
(病院名)

多野藤岡医療事務市町村組合

1. 収支計画 (収益的収支)

(単位:百万円、%)

年度		29年度 (実績)	30年度 (実績)	1年度 (実績)	2年度 (実績)	3年度 (計画)	4年度 (計画)	5年度 (計画)
区分								
収	1. 医業収益 a	10,053	10,414	10,501	9,863	10,602	11,228	11,239
	(1) 料金収入	9,580	9,893	9,972	9,353	10,028	10,656	10,667
	(2) その他	473	521	529	510	574	572	573
	うち他会計負担金	88	89	96	98	77	85	85
	2. 医業外収益	774	477	565	1,308	1,068	1,273	667
	(1) 他会計負担金・補助金	244	161	156	138	162	174	174
	(2) 国(県)補助金	37	43	37	835	535	38	39
	(3) 長期前受金戻入	406	213	314	294	297	986	380
	(4) その他	87	60	58	41	74	74	74
	経常収益(A)	10,827	10,891	11,066	11,171	11,670	12,501	11,906
入	1. 医業費用 b	10,433	10,757	11,005	11,081	11,764	11,728	11,626
	(1) 職員給与費 c	5,297	5,438	5,424	5,531	5,771	5,819	5,837
	(2) 材料費	2,556	2,550	2,729	2,706	2,895	2,919	2,922
	(3) 経費	1,564	1,487	1,603	1,634	1,871	1,889	1,891
	(4) 減価償却費	797	1,226	1,193	1,170	1,148	1,044	920
	(5) その他	219	56	56	40	77	57	57
	2. 医業外費用	1,241	491	568	586	478	469	469
	(1) 支払利息	147	171	162	152	144	135	135
	(2) その他	1,094	320	406	434	334	334	334
	経常費用(B)	11,674	11,248	11,573	11,667	12,242	12,197	12,095
経常損益(A)-(B)(C)	▲ 847	▲ 357	▲ 507	▲ 496	▲ 572	304	▲ 189	
特別損益	1. 特別利益(D)	69	129	221	293	149	112	111
	2. 特別損失(E)	1	1	1	170	657	3,606	1
	特別損益(D)-(E)(F)	68	128	220	123	▲ 508	▲ 3,494	110
純損益(C)+(F)	▲ 779	▲ 229	▲ 287	▲ 373	▲ 1,080	▲ 3,190	▲ 79	
累積欠損金(G)								
不良債務	流動資産(ア)	6,609	6,385	5,908	5,705	5,285	5,066	4,684
	流動負債(イ)	2,308	2,613	2,331	2,396	2,383	2,197	2,119
	うち一時借入金							
	翌年度繰越財源(ウ)							
	当年度同意等債で未借入 又は未発行の額(エ)							
差引 不良債務(オ) [(イ)-(エ)] - [(ア)-(ウ)]	▲ 4,301	▲ 3,772	▲ 3,577	▲ 3,309	▲ 2,902	▲ 2,869	▲ 2,565	
経常収支比率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	92.7	96.8	95.6	95.7	95.3	102.5	98.4	
不良債務比率 $\frac{(オ)}{a} \times 100$	▲ 42.8	▲ 36.2	▲ 34.1	▲ 33.5	▲ 27.4	▲ 25.6	▲ 22.8	
医業収支比率 $\frac{a}{b} \times 100$	96.4	96.8	95.4	89.0	90.1	95.7	96.7	
職員給与費対医業収益 比率 $\frac{c}{a} \times 100$	52.7	52.2	51.7	56.1	54.4	51.8	51.9	
地方財政法施行令第15条第1項 により算定した資金の不足額(H)	▲ 4,301	▲ 3,772	▲ 3,577	▲ 3,309	▲ 2,902	▲ 2,869	▲ 2,565	
資金不足比率 $\frac{(H)}{a} \times 100$	▲ 42.8	▲ 36.2	▲ 34.1	▲ 33.5	▲ 27.4	▲ 25.6	▲ 22.8	
病床利用率	85.8	89.9	86.7	74.8	76.4	79.9	82.9	

団体名 (病院名)	多野藤岡医療事務市町村組合
--------------	---------------

2. 収支計画(資本的収支)

(単位:百万円、%)

年度		29年度 (実績)	30年度 (実績)	1年度 (実績)	2年度 (実績)	3年度 (計画)	4年度 (計画)	5年度 (計画)	
収 入	1. 企業債	9,800		197	49	200	150	200	
	2. 他会計出資金	399	369	598	551	528	562	562	
	3. 他会計負担金								
	4. 他会計借入金								
	5. 他会計補助金								
	6. 国(県)補助金	79		2	36	83			
	7. その他						420		
	収入計 (a)	10,278	369	797	636	812	1,132	762	
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)								
	前年度許可債で当年度借入分 (c)								
純計(a)-(b)+(c) (A)	10,278	369	797	636	812	1,132	762		
支 出	1. 建設改良費	10,684	139	243	187	337	301	301	
	2. 企業債償還金	678	845	1,269	1,177	1,134	1,181	939	
	3. 他会計長期借入金返還金								
	4. その他								
支出計 (B)	11,362	984	1,512	1,364	1,471	1,482	1,240		
差引不足額 (B)-(A) (C)	1,084	615	715	728	659	350	478		
補 て ん 財 源	1. 損益勘定留保資金	1,084	615	715	728	659	350	478	
	2. 利益剰余金処分量								
	3. 繰越工事資金								
	4. その他								
計 (D)	1,084	615	715	728	659	350	478		
補てん財源不足額 (C)-(D) (E)	0	0	0	0	0	0	0		
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (F)									
実質財源不足額 (E)-(F)	0	0	0	0	0	0	0		

- 複数の病院を有する事業にあつては、合計表のほか、別途、病院ごとの計画を作成すること。
- 金額の単位は適宜変更することも可能。(例)千円単位。

3. 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位:百万円)

	29年度 (実績)	30年度 (実績)	1年度 (実績)	2年度 (実績)	3年度 (計画)	4年度 (計画)	5年度 (計画)
収益的収支	(0) 332	(0) 250	(0) 252	(0) 236	(0) 239	(0) 259	(0) 259
資本的収支	(0) 399	(0) 369	(0) 598	(0) 551	(0) 528	(0) 562	(0) 562
合計	(0) 731	(0) 619	(0) 850	(0) 787	(0) 767	(0) 821	(0) 821

(注)

- ()内はうち基準外繰入金額を記入すること。
- 「基準外繰入金」とは、「地方公営企業繰出金について」(総務副大臣通知)に基づき他会計から公営企業会計へ繰り入れられる繰入金以外の繰入金をいうものであること。